

2017年3月27日

報道関係各位

グラクソ・スミスクライン株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社 2016年度の社会貢献活動を発表

- 6年目を迎えた被災地の薬学生のための奨学金制度「Orange Scholarship (オレンジ・スカラーシップ)」では5,600万円以上の基金で、30名を支援
- 社員からの募金と会社マッチングを含め、年間2,000万円以上の寄附を実施
- 社員の60%がボランティア休暇制度を取得

グラクソ・スミスクライン株式会社(社長:フィリップ・フォシェ、本社:東京都渋谷区、以下GSK)は、2016年度のGSKの社会貢献活動についてお知らせいたします。

GSKは、社会を構成している企業市民として、社員一人ひとりが社会貢献活動に参画することを奨励しており、それらの活動を通じて、真に社会に貢献することを目指しています。

被災した薬学生への奨学寄附金、6年間で5,600万円以上

GSKは東日本大震災からの復興支援の一環として、被災した薬学生向けの奨学金「Orange Scholarship (オレンジ・スカラーシップ)」を2011年に開設し、今年で最終年を迎えます。これまでに5,600万円以上の寄附を行い、計30名の学生を支援してきました。この奨学金は、2011年の夏季から全社員の協力のもとに実施した本社ビルの節電による光熱費削減分を原資としています。

社員からの募金と会社のマッチングを含め、年間2,000万円以上を寄附

GSKは全世界で2013年から、100万人の子どもを救うことを目標に、国際子ども支援NGOセーブ・ザ・チルドレンとパートナーシップを組んでいます。それを支援する社員募金プログラムOrange United (オレンジユナイテッド)を通じて、2016年は社員の募金に全額会社がマッチングして17,352,132円の寄附となりました。また、2016年4月に起きた熊本地震の緊急支援では3,271,500円の寄附を行い、併せて2,000万円以上の寄附をセーブ・ザ・チルドレンに行いました。

社員のボランティア休暇制度の取得率60%

2009年より、世界中の社員に年間1日のボランティア休暇Orange Day (オレンジデー)が付与されています。2016年は日本の60%以上の社員がOrange Dayを取得してボランティア活動に参加しました。日本においてGSKの社員が参加しているボランティア活動は多岐にわたり、東北の被災地での支援活動から、難病の子どもたちとのサマーキャンプの付き添い、難病・希少疾患の子どもたちの宿泊施設での清掃や料理、工場周辺の公共施設の清掃活動、障害者スポーツの支援活動に至るまで、それぞれの社員が主体性を持って関わっています。

3-6カ月のボランティアプログラム「PULSE」へ日本からも2016年までに6名参加

長期ボランティアプログラム「PULSE」は、社会貢献と人材育成を目的に2009年からグローバル規模で実施しています。既に世界60カ国から635名の社員が112のNPOに派遣され、日本からも2016年までに6名の社員が参加しています。

今市工場、女子ホッケーチーム Orange United による地域社会への貢献

栃木県日光市にある今市工場では社員が一斉に周辺地域でボランティアを行う日を設定し、日光杉並木や周辺地域の清掃を行っています。また 2016 年リオ・オリンピックに選手を輩出した、今市工場に所属する社員で構成される女子ホッケーチーム Orange United のメンバーは、各地でホッケー教室の開催や講演会、熊本地震の募金活動など積極的な社会貢献活動を行いました。

職場環境の改善と障がい者スポーツを支援する取り組みを強化

GSK では、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に、パラ・スポーツの支援や障がい者も働きやすい職場環境づくりを加速するプロジェクト「FureFure2020」を始動しました。このプロジェクトを通じて、パラリンピアンである社員を含むアスリートによる社外セミナー実施や、障がい者スポーツイベントでのボランティア、また職場環境の改善と障がいの体験会実施などに取り組んでいます。

GSK の代表取締役社長のフィリップ・フォシェは社会貢献活動について次のように述べています。「GSK は、医療用医薬品を通してだけでなく、地域社会への貢献を通じ、人々の”生きる喜びを、もっと”の実現を目指しています。GSK の社会貢献活動は、社員一人ひとりの主体的なボランティア活動や寄附が中心となっており、社員が行動することで、地域社会や支援を必要とする人々に貢献するのみならず、このような活動で得られる新たな視点が、日々の業務の中でも必ず活かされると考えています。」

生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer

グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置き世界をリードする、医薬品およびヘルスケア企業であり、人々が心身ともに健康でより充実して長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。

<お問い合わせ先>

グラクソ・スミスクライン株式会社

コミュニケーション

福家優子

TEL: 03-5786-5030

<http://jp.gsk.com/>